

フランス国際親善マッチ2022 報告書



- 2P ご挨拶と選手派遣ご支援の御礼
- 3-4P 大会概要
- 5-8P 親善マッチレポート
- 9P 監督総括
- 10P もうひとつのW杯について(参考資料)
- 11P 出場選手・スタッフ
- 12P SPECIAL THANKS



ご挨拶と選手派遣ご支援の御礼

2022年6月、特定非営利活動法人日本知的障がい者サッカー連盟は、フランス国際親善マッチに伴う知的障がい者サッカー日本代表チームのフランス遠征を、新型コロナ感染症対策を徹底し無事実施することが出来ました事をご報告いたします。

今年4月初旬、第8回Virtusサッカー世界選手権2022開催中止が決定されました。中止については、主にヘルスケア(新型コロナウイルス)と地政学的な状況(ロシアによるウクライナ侵攻)に関して議論が行われた結果ですが、突然の大会中止に選手や監督・コーチ、多くの関係者は驚きと失望などを感じました。

4年に1度の世界選手権が中止になったことを受けて、日本連盟は、これからの日本代表チームが、これまで積み上げてきたものを発揮する場や、世界トップとの距離・次の世界選手権に向けての課題抽出をするために、選手やスタッフが海外チームとの対戦による経験を積む機会が必要であると判断し、フランスとの国際親善マッチに舵をきりました。フランスも親善マッチについて快諾していただき、6月24日・26日に、フランス・アミアンにてフランス代表チームとの親善マッチが実現しました。

チームは世界との力の差を感じたようですが、この経験はこれからの日本代表 チームが大きく成長するものに繋がると信じています。経験は宝です。このよう な貴重な経験が出来たことは、送り出していただいた関係者様のご理解、ご協力 あってのものに他なりません。

また、フランス国際親善マッチに日本選手団を派遣するにあたり、日本全国からJFFID応援Tシャツを通したご声援やご寄付等、多大なご支援を頂きました。たくさんの激励や応援のメッセージいただき、その全ての声援が世界を相手に挑戦し続けた選手に力を与えてくれました。日本連盟を代表して心よりの御礼を申し上げます。

どうか今後とも引き続き、知的障がい者サッカー、そして障がい者スポーツ発展のためにお力をお貸しいただければ幸いです。

そして、よりよい社会の実現に向けて共に歩んでいただけることを強く願って います。ありがとうございます。

> 特定非営利活動法人日本知的障がい者サッカー連盟 理事長 本城 彰



■日時・場所

期間:2022年6月21日(月)~6月29日(水)

場所:フランス アミアン



■遠征の目的

・4年に一度の世界選手権が中止になったことを受け、これまでの積み上げの発揮、世界トップとの距離、次の世界選手権に向けての課題抽出

・選手・スタッフが、海外チームとの対戦による経験を積む

■スケジュール

期日	午前	午後	夜
6月20日(月)		集合/出国前PCR検査	ミーティング
6月21日(火)	日本出国	_移動_	フランス到着
6月22日(水)	_移動_	トレーニング	ミーティング
	コンディションチェック		
6月23日(木)	トレーニング	トレーニング	ミーティング
6月24日(金)	トレーニング	親善マッチ②vsフランス	ミーティング
			抗原検査
6月25日(土)	トレーニング	トレーニング	ミーティング
6月26日(日)	トレーニング	親善マッチ②vsフランス	_移動_
6月27日(月)	帰国前PCR検査	オフザピッチプログラム	ミーティング
	オフザピッチプログラム		
6月28日(火)	オフザピッチプログラム	移動	フランス出国
6月29日(水)	移動	移動/日本入国	
		抗原検査陰性確認/解散	

■コロナ対策

- ・集合時・出国前6/20(月)、選手・スタッフ全員に対しPCR検査を実施。陰性確認。
- ・親善マッチ①終了時6/24(金)、選手・スタッフ全員に対し抗原検査を実施。陰性確認。
- ・親善マッチ②終了後・帰国前6/27(月)、選手・スタッフ全員に対しPCR検査を実施。陰性確認。
- ・帰国後、解散時 6/29(水)、選手・スタッフ全員に対し抗原検査を実施。陰性確認。



■トレーニング・ミーティング及びゲーム

【攻撃】ビルドアップ

・パス&コントロール&サポート、4vs4+F+2S、5vs5+1F+2GK、ゲーム(チーム戦術確認) 【守備】守備(前線、中盤、ゴール前の守備)

・パス&コントロール、5vs5+1T、6vs7+1T、ゲーム、セットプレー

$[GK](\overline{\tau}-\overline{\tau})$

- ・海外においてのコンディショニング作り(身体面・精神面等)
- **・GK**の存在感(ゲームにおいて・トレーニングにおいて)
- ・FPとの連携(指示の声・鼓舞の声)

【セットプレー】CK(攻守)、ゴール前FK[直接](攻守)

【ポジション別】

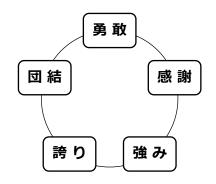
【ミーティング】

- ・日本代表プレーモデル
- ・親善マッチ①の振り返りと、親善マッチ②に向けての修正ポイント
- ・試合前ミーティング





■JFFID日本代表IDENTITY



日本代表、それは夢の舞台で躍動する集団 日本人である誇りと個々の強みを持ち 日本の勝利のために覚悟し、それを団結する すべての関わりに感謝し、勇敢に世界に挑む。





2022 JAPAN FID NATIONAL TEAM International Friendship Match 1st leg

日時	2022年6月24日 15:00					試合形式		90分		
会場	フェルナン・デュショーソワ・センター			ピッチ状態			人工芝			
日本代表			0	0 前半 3 0 後半 2	5	フランス代表			表	
警告・退場	警告·退場 後半 前半			チーム合計			後半	警告・退場		
	5	5	10	シュート	14	6	8			
	5	5	10	GK	6	3	3			
	2	3	5	CK	2	1	1			
	5	2	7	直接FK	4	2	2			
	3	5	8	間接FK	2	1	1			
	3	5	8	(オフサイド)	2	1	1			
	0	0	0	PK	1	1	0			

【日本】



【フランス】



【得点経過】

17分[フランス] ゴール前に上がったクリアーボールを GK がキャッチミス。NO.7がこぼれた球を押し込む。

20分[フランス] NO.10 がスルーパス。右サイドのスペースに走り込んだ NO.9 のグラウン ダーのクロスボールを NO.6 がシュート。

43分[フランス] 自陣ビルドアップのパスを NO.11 がカット。そのままドリブルで抜け出したところをペナルティエリア内でファール。NO.4 に PK を決まられる。

71分[フランス] シュートブロックからカウンターを受け、一度はボールを回収。しかし、 判断が遅れたところ、 再度ボールを奪われ、そのまま GK が前にポジショ

ンをとっていたところを NO.10 がループ シュート。

78分[フランス] **CK** を NO.12 が GK 前でフリック、NO.9 がボレーシュート。



【交代】

63分[日本] IN NO.7石綿 ⇔ OUT NO.11越智

66分[フランス] IN NO.7 ⇔ OUT NO.12 75分[フランス] IN NO.10 ⇔ OUT NO.13

86分[日本] IN NO.10犬塚⇔ OUT NO.13渡邊 90分[日本] IN NO.12佐藤 ⇔ OUT NO.17斎藤

IN NO. 15福原 ⇔ OUT NO.8武田

92分[日本] IN NO. 9奥田 ⇔ OUT NO.16原良田



■ゲームコンセプト

全員攻撃・全員守備

攻撃コンセプト

- ・相手 DF の裏をとる→越えるサポート
- ・相手 DF の間で受ける →継続するサポート
- ・ボールを奪われそうなときのサポート→緊急のサポート
- ・積極的なシュート
- ・サイド攻撃(数的優位)、低いクロス、プルバック

守備コンセプト

- ・前線から、中盤からの積極的な守備 (1stDFのアプローチ、予測、距離感、背後への飛び出しの予測・対応)
- ・ゴール前の守備(正面に立つ、距離感、簡単に飛び込まない)

■ゲーム内容

フランスは、前線4枚が積極的に裏を狙い、推進力を生かした攻撃を仕掛けてきた。また、No.8 と No.10 が 起点となり日本の DF ラインの背後にボール供給をしてきた。

オフサイドも厭わずに裏抜けしてくるフランスに日本はラインをコントロールしながら対応していたが、序盤 は、フランスのスピードへの対応に苦戦した。徐々にスピードにも慣れてきたところであったが、前半17分に 12佐藤のクリアーボールがゴール前に高く上がってしまい、1原田のキャッチミスを押し込まれてしまい、先制点を奪われる。立て続けに前半20分に日本がゴールを奪いに、前がかりになったところを、DF ラインの背後 をつかれ、カウンターから失点。前半終了間際にも PK を与え前半3失点を喫する。後半は、2nd ボールへの対 応や、ボールを前進する機会も増えてきたが、後半23分に10犬塚のシュートをブロックされ、カウンターを受ける。一度は、12佐藤がボールを回収するが、判断が遅れたところすぐにボールを奪われ、1原田が前に出ていたところを No.10 にループシュートを決められてしまう。後半27分には、2nd ボールの回収からシュートまで持ち込むが、相手 GK にセーブされてしまう。後半30分に CK からマークが外れた隙をつかれ、NO.9 のボレーシュートが決まる。日本は、交代カードをきるなど何とか得点を奪おうと試みるが、そのまま終了のホイッス ルが鳴り、0-5の敗戦となった。



2022 JAPAN FID NATIONAL TEAM International Friendship Match 2nd leg

日時	2022年6月26日 15:00					試合形式		9 0	90分			
会場	フェルナン・デュショーソワ・センター					ピッチ状態			人工	芝		
日本代表	0	0	前半 後半	1 2	3	フランス代表						
警告・退場	後半	前半	チーム合計			前半	後半	警告・退場				
	7	6	13	3	ノユート	-	15	7	8			
	4	5	9		GK		10	6	4			
	2	5	7		CK		2	2	0			
	3	4	7		直接FK		0	0	0			
	2	6	8		間接FK		0	0	0			
	2	6	8	(オ	フサイ	ド)	0	0	0			
	1	0	1		PK		1	0	1			

【日本】



【フランス】



【得点経過】

48分[フランス] サイドチェンジのボールを No.7 がインターセプト。No.9 が前を向き、DF ライン背後にスル ーパス。No.7 がスペースに走り込み、ペナルティエリア内でシュート。

84分[フランス] ビルドアップのパスを No.9 がインターセプト。NO.11 にボールが渡り、 そのまま GKと1対 1を決められる。

87分[フランス] No.12 が DF 背後に浮き球パス。No.11 が抜け出しシュート。



【交代】

59分[日本] IN NO.12佐藤 ⇔ OUT NO.11越智

65分[フランス] IN NO.7 ⇔ OUT NO.12

66分[日本] IN NO.7石綿 ⇔ OUT NO.16原良田

78分[日本] IN NO.10犬塚 ⇔ OUT NO.13渡邊

78分[フランス] IN NO.10 ⇔ OUT NO.13

90分[日本] IN NO. 15福原 ⇔ OUT NO.8武田

93分[日本] IN NO. 16原良田 ⇔ OUT NO.17斎藤

■ゲームコンセプト

全員攻撃・全員守備

攻撃コンセプト

- ・相手 DF の裏をとる→越えるサポート
- ・相手 DF の間で受ける →継続するサポート
- ・ボールを奪われそうなときのサポート→緊急のサポート
- ・積極的なシュート
- ・サイド攻撃(数的優位)、低いクロス、プルバック

守備コンセプト

- ・前線から、中盤からの積極的な守備 (1stDFのアプローチ、予測、距離感、背後への飛び出しの予測・対応)
- ・ゴール前の守備(正面に立つ、距離感、簡単に飛び込まない)

■ゲーム内容

日本は、前線・中盤から積極的にボールを奪いにいき、攻撃では、ボール保持から、DF ラインの背後をとり、 サイド攻撃を仕掛けた。

前半16分に、12佐藤のパスカットから右サイドをワンツーで抜け出し、ペナルティエリアに侵入。そのまま 12佐藤がシュートまで持ち込むが GK にセーブされてしまう。前半は、相手陣地に押し込む場面が多かったが、 前半48分にハーフウェーライン付近での FK を獲得。ビルドアップを試みるが、No.7 にサイドチェンジのボールをカットされ、カウンターからゴールを決められてしまい、0-1で前半が終了した。

後半6分に No.11 が左サイドを抜け出し、スピードに乗ったドリブルからペナルティエリアに侵入される。横井が対応するが、スライディングタックルが相手の足にかかり、PK を与えてしまう。しかし、1原田が PK を 阻止し、追加点を防ぐことができた。徐々に日本の流れになり、後半11分にフランス GK のビルドアップを11 越智がインターセプト。中央で待ち構えていた9奥田にパスが渡り、シュートまで持ち込もうとしたところ、ペナルティエリア内で倒され、PK を獲得した。9奥田がキッカーを務めたが、ゴールポストに当たり、ゴールとならず。後半17分、33分とフランスのバックパスのミスから同点のチャンスを掴むも決めきれない。ゲームの流れが日本にあったが、後半36分に自陣ビルドアップのミスから No12 に2点目を決められてしまう。立て続けに、後半39分に一瞬の隙を突かれ、DF ラインの背後をとられ、抜け出した No.11 に GK との1対1を決められ、0-3となった。日本も最後まで攻めの姿勢を見せるがゴールが遠く、0-3の敗戦となった。





■監督総括 (西眞一代表監督)

知的障がい者サッカー日本代表チームは、6月20日から29日までフランス遠征を行いました。4年に一度開催される「Virtusサッカー世界選手権(通称:もうひとつのW杯)」は、コロナ禍など昨今の世界情勢によりやむなく中止となりましたが、本連盟の積極的な働きかけによりフランスとの国際マッチが2試合実現しました。海外チームと対戦できる機会が4年に一度しかない私達には大切なマッチとなり、これまで国内合宿で4年間準備してきたことの発揮と、次の世界選手権に向けての課題抽出を目的として試合に臨みました。

日本は世界ランキング8位、対するフランスは3位で、世界における私たちの現在地を知るには十分でした。フランスの選手は、サイズ・スプリント・プレースピード・個の能力など、日本の日常では経験できないものを持っていて、海外チームとの対戦が初めての選手が多い日本にとって良い経験となりました。

日本は全員攻撃・全員守備をチームコンセプトとし、前線や中盤からのプレスにより高い位置でのボール奪取とテンポのある攻撃を基本として、状況に応じて中央突破やサイド攻撃によりフランスゴールを目指しました。また、前線や中盤でボールを奪えない時は、コンパクトにしてバランスを保ち全員でゴールを守り、ボールを奪ったときは状況に応じてビルドアップによる攻撃を図りました。

2試合とも日本のペースでサッカーをする時間はありましたが、ビルドアップ時のパスミスを突かれ失点し敗戦しました。特に2試合目は、決定的なシーンは日本が多くありましたが、ゴールを奪うシュート力、自信を持ってシュートする部分が不足し、決定力には「差」がありました。

次の世界選手権に向けて、私たちはこれまでの取り組みを継続しつつも、その クオリティを向上させていくことが重要です。選手は「世界基準」とはどういっ たものかを経験し、既に地域に戻りトレーニングを始めています。

知的障がい者サッカーの未来に向けて、今遠征で得たもの・感じたことを更に 進化させて強化に取り組んでいきたいと思います。これからも知的障がい者サッ カー日本代表へのご声援をよろしくお願いいたします。





■もうひとつのW杯について

Virtus(国際知的障害者スポーツ連盟)は1994年にオランダで知的障がい者サッカー世界選手権 大会を初めて開催しました。

4年に一度の開催で、「もうひとつのワールドカップ」と呼ばれています。

大会はFIFA11人制サッカーのルールに則り試合が行われており、日本は2022年フランス大会で、 6回連続の出場となる予定でした。

日本代表は全国の都道府県選抜や大会で活躍する選手の中から選抜され、全国で6000人を超える競技者の夢の存在です。

<これまでのVirtus世界選手権>

○第1回大会 1994年 オランダ、ホーゲベーン市

優勝:ルーマニア 準優勝:スロヴァキア 参加国:12の国と地域

○第2回大会 1998年 イギリス、レスター市

優勝:ポーランド 準優勝:ブラジル 参加国:14の国と地域

○第3回大会 2002年 日本、東京都・神奈川県

優勝:イングランド 準優勝:オランダ 参加国:16の国と地域 ※日本は10位

○第4回大会 2006年 ドイツ、ノルトラン=ヴェストファーレン州

優勝:サウジアラビア 準優勝:オランダ 参加国:16の国と地域 ※日本は11位

○**第5回大会** 2010年 南アフリカ、<mark>リンポポ州、ポ</mark>ロクワネ

優勝:サウジアラビア 準優勝:オランダ 参加国:11カ国 ※日本は10位

○第6回大会 2014年 ブラジル、サンパウロ州、グアルジャ州

優勝:サウジアラビア 準優勝:南アフリカ 参加国:8カ国 ※日本は4位

〇第7回大会 2018年 スウェーデン、カールスタッド市

優勝:サウジアラビア 準優勝:アルゼンチン 参加国:8カ国 ※日本は6位



■選手・スタッフ (2022/6/20時点の年齢)

GK DF	原田 結城 草田	康太 隆 佑介	鹿児島県 東京都 広島県	23歳 27歳 21歳
	十吉川 大野 原良田	圭祐 航	東京都兵庫県鹿児島県	23歳 18歳 22歳
MF	佐藤 横井 武智羽 石綿	快知 稜 久 洵	東京都 東京都 大阪府 愛媛県 東京都	24歳 20歳 17歳 19歳 22歳
FW	福齊 奥犬渡	碧人 光 浩 隆 賢剛	鹿児島県 神奈川県 福岡県 愛知県 東京都	19歳 16歳 21歳 19歳 22歳

監督	西	= —	鹿児島県	49歳
コーチ	泉谷	光紀	鹿児島県	38歳
コーチ/アナリスト	竹中	康雄	東京都	35歳
GKコーチ	岡田	裕樹	北海道	52歳
アスレチックトレーナー	澤野	啓祐	千葉県	39歳
コーチ/主務	古薗	功詞郎	鹿児島県	31歳
連盟理事(通訳・渉外)	津島	直樹	東京都	67歳







SPECIAL THANKS

(敬称略)

株式会社サティスファーマ 株式会社ネクイノ 博友グループ 株式会社新日本科学 株式会社**ZO** T-LIFEパートナーズ株式会社 アディダスジャパン株式会社

(独法)日本スポーツ振興センター (公財)日本パラスポーツ協会 日本パラリンピック委員会 (一社)全日本知的障がい者スポーツ協会 (一財)日本障がい者サッカー連盟

栃木県さくら市(2019年11月,2020年11月,2021年11月,2022年1月) さくらスタジアム、SAKURAグリーンフィールド、鬼怒川運動公園 栃木県さくら市職員の皆様

民宿樽分、ホテルベルセルバ、栃木SCユース、宇都宮短期大学附属高校 FC CASA、清修高校高校サッカー部、宇短大高校サッカー部

鹿児島県姶良市(2022年3月) アイライクホテル、ビーラインフットボールセンター姶良 姶良市役所 鹿児島実業高校サッカー部、鹿児島城西高校サッカー部

東京都日野市(2022年5月) サンホテル八王子、浅川スポーツ公園グラウンド 中央大学サッカー場、ARTE八王子FC、F.C.Branco

ONE TAP SPORTS、Knows、NTT Sportict、株式会社吉岡、社会福祉法人汰功寿会 応援Tシャツをご購入いただいた背番号12番の皆様

JAPAN SPORT

COUNCIL

日本スポーツ振興センター

競技力向上事業

この事業は競技力向上事業補助金を受けて実施されました。